

第2回ワークショップ「おらのまちしゃべろて会議」・中学校報告会

昨年12月9日、36名の方にご参加いただきワークショップを行いました。NPO法人まちづくり学校様よりアンケート結果報告と分析をしていただき、その後結果についてグループで話し合い、発表しました。

参加者のふりかえり（抜粋・要約）



地域活動への参加者を増やす、興味を持ってもらうのはとても大変。

各地区、各地域での将来の世帯減は共通。

多くの年代の人の声が聞けて良かった。

コミュニティは多くの人の力で動いている。

若い世代と高齢世代、同じことをしていたら相容れないこともあり、また同じことからつながることもあり、どうしたらそのつながりが持てるのか考える必要があったと考えました。

ネットを使った情報発信が若い世代の認知につながる。



12月16日南中学校にてアンケート報告会を行いました。「愛着BOX」を設置し、地域のどんなことに愛着があるか、楽しい思い出など意見を出してもらいました。

中学生よりもらった意見（抜粋・要約）



あいさつをしたらかえしてくる人がたくさんいること。

緑が豊かで田んぼがあったり畑があったり…そこに雪が積もった銀世界が私はとても好きです。でもクマがでたり道がガタガタだったりしてこわいなと思うこともあります。

気軽に集まれる場所は確かに欲しいなと思いました。

「これから大切だと思う活動」で高齢者の活動支援が一番多いので活動支援を増やしてもっと高齢者が楽に住めればいいと思いました。

見附は自然があって気が休まるし、自然とふれあえてよいと思います。また小学生のころに北谷公民館で、地域の人と運動会のようなものをしたのが良かったです。

次回第3回ワークショップ（1月下旬開催予定）では、アンケートの結果を踏まえ、今までの活動を見直し、今後の長期活動計画を考えていく予定です。これからどんな活動に力を入れていくのか、皆様のご意見やアイデアを参考にさせていただきます。

北谷北部くさなぎコミュニティ

〔北谷北部地区住民アンケート報告〕

発行 北谷北部くさなぎコミュニティ TEL・FAX 63-2346（北谷公民館内）

メールアドレス north-kusanagi@city.mitsuke.niigata.jp

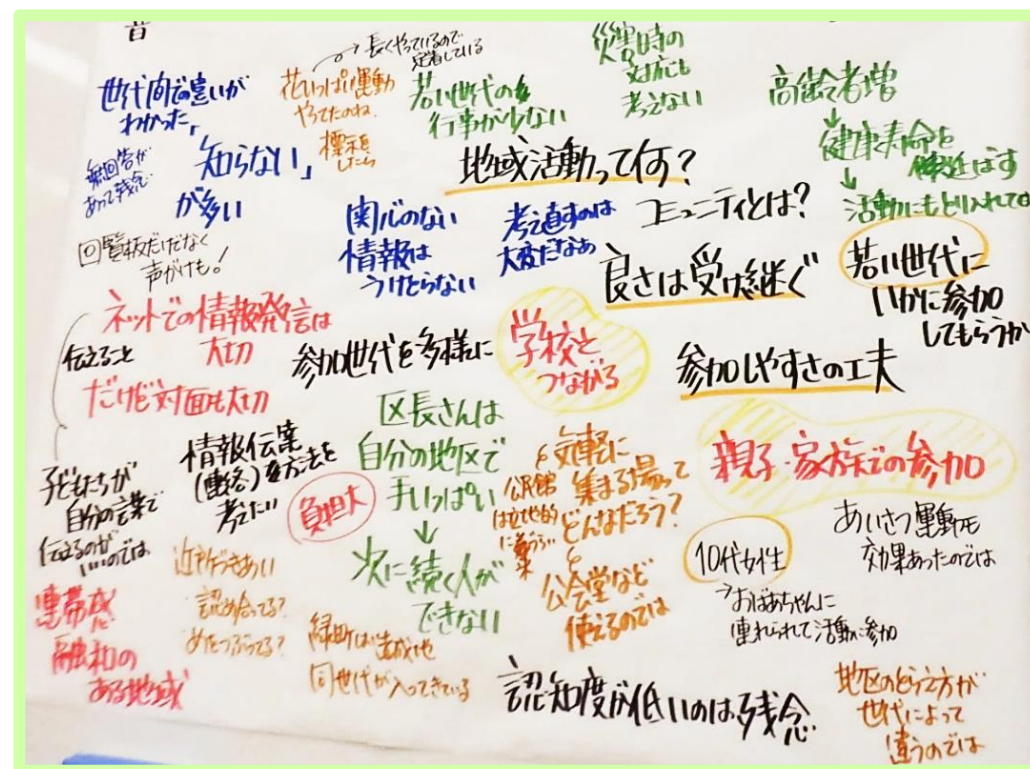
速報

北谷北部地区に住む中学生以上の全住民を対象とし、これからの地域づくりやコミュニティ活動についての意向を把握するアンケート調査を行った結果をお知らせします。（令和2年9～10月に配布・回収）

対象人口：3,397人

回収数：2,767通

回答率 81.45%



第2回ワークショップで出された意見と話し合いの様子です。（裏面にあり）



「住民アンケート」ご協力のお礼

平素はコミュニティ活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。また、昨年実施しました「住民アンケート」には、ご多忙中にもかかわらず2,767名の大変多くの方々からご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、当コミュニティ事業は地区の皆様のご協力により発展してきました。そして設立10年目を迎えるにあたり、活動を振り返り実情やニーズを分析し、皆様が望むことは何なのか、見直す部分は何なのかを探り、活動に生かすために「住民アンケート」調査をさせていただきました。

これからも地区の皆様には何かとご迷惑お掛けしますが、今後の当地区・当コミュニティを拓く過程と理解いただきご容赦願います。おわりに、この「住民アンケート」にご協力いただきました多くの方々に感謝申し上げます、お礼のあいさつといたします。

北谷北部くさなぎコミュニティ 会長 吉田 忍

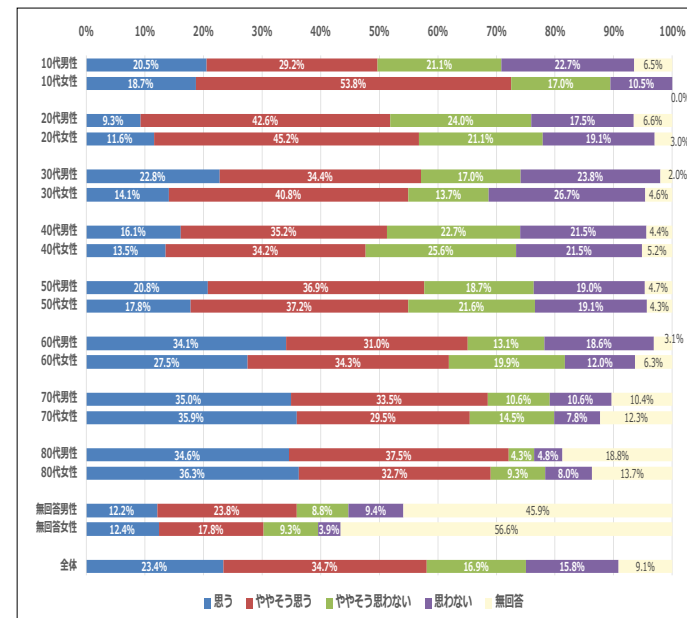
北谷北部地区の人口推移と今後の予測

合計	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
合計	3,919	3,928	3,823	3,768	3,627	3,463	3,287
0～14歳	650	625	559	503	482	467	452
15～64歳(A)	2,665	2,552	2,364	2,174	2,018	1,907	1,818
65～74歳	370	445	532	619	552	428	371
75歳～	234	306	368	472	575	662	646
85歳～(B)	50	77	94	137	156	191	233
高齢者率	15.4%	19.1%	23.5%	29.0%	31.1%	31.5%	30.9%

2015年の国勢調査データと比較すると、2030年には地域活動の主な担い手となる65～74歳の世代は40.1%減少する予測。85歳以上は今後70.1%増加。高齢者率は3割に。

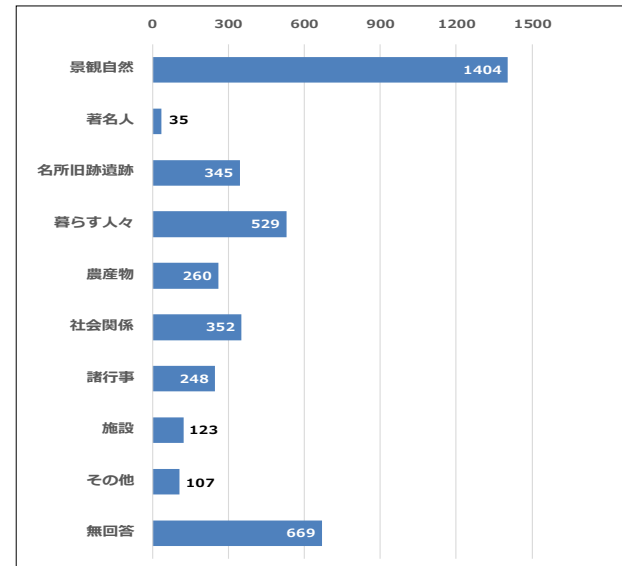
少子高齢化、人口減少が続いていく

北谷北部地区に愛着があるか



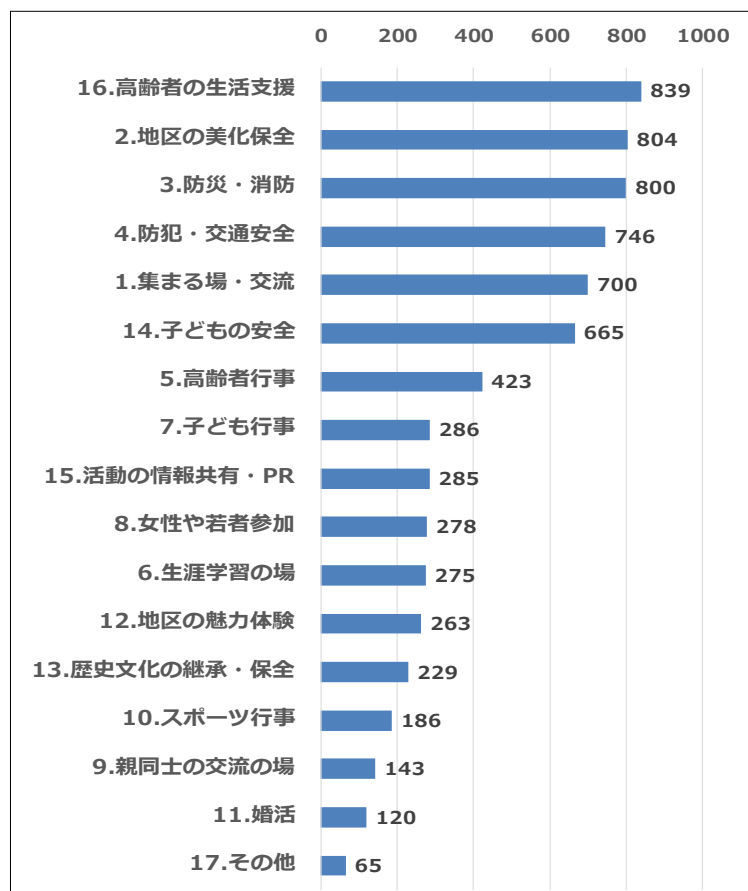
全体では、58.1%が「愛着がある」と思う、ややそう思うという結果になりました。高齢者に愛着があるという結果が高く見られますが、10代女性も高い結果でした。人口の多い40代で他世代より低い結果になりました。

北谷北部地区で誇りに思うもの



トップは「景観・自然環境」。無回答を除くと、その後は「暮らす人々」「名所・旧跡・遺跡」と続きました。10代では「諸行事」が他世代に比べ多く選択されました。高齢になるほど、助け合いなどの「社会関係」を選ぶ人が多くなりました。

地区にこれから大切だと思う活動

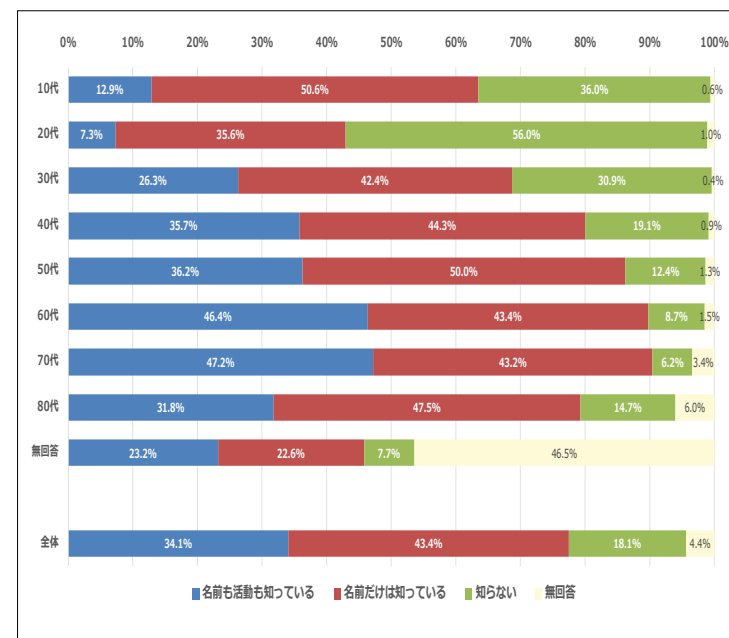


「高齢者の生活支援」がトップになり、若い世代でも大切だと思う人は多い結果になりました。「美化保全」はニーズが高く、まちがキレイであることは防犯や防災にもつながります。「集まる場や交流」は若い世代だけではなく、高齢世代でも求められていました。

日常生活での不安・困りごと

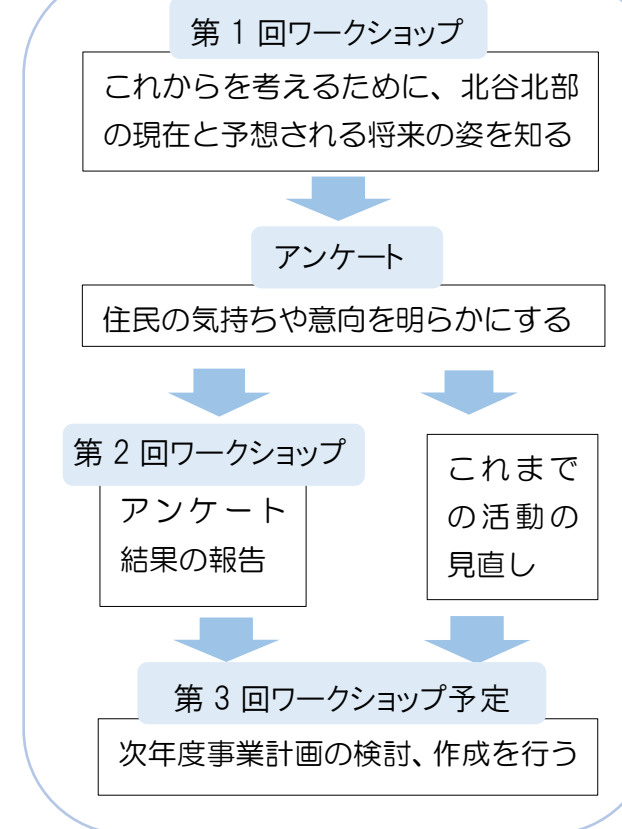
「除雪」が最も多く、「災害への備え・避難」「医療体制」「防犯」と続きました。10代20代そして70代では「気軽に集まる場」へのニーズが高い結果となりました。運転免許を持たない10代と80代で「移動手段」が上位でした。年代が高まるにつれ買い物や移動手段を含めた日常生活に関わる作業が不安となっていました。

くさなぎコミュニティの認知度



77.5%の住民がくさなぎコミュニティの存在を知っていますが、活動まではあまり知られておらず、特に若い世代で顕著。20代は「知らない」が半数以上。しかし、ここでも10代女性の認知度は高く、他の質問項目でも積極的な回答が見られました。

取り組みの流れ



この取り組みは、令和2年度「新潟県地域の合意形成促進事業」により実施しています。